



室井 高男

質問

## 転入者の窓口対応の改善は

**町** 可能な限り相談に応じている

**問** 転入希望の相談はどの様に  
対応しているか。

**答** ふるさと定住課を相談窓口とし、町の広報紙やホームページで告知している。さらに移住定住支援コーディネーターを活用している。

**問** 転入後の自治会の加入の推進はどのようになっているのか。

**答** 相互扶助の必要性を再認識して加入推進の支援を行いたい。ごみの搬出や水道管理でのトラブルは起きないか。

**問** 転入時の窓口業務に時間がかかるが改善できないか。

**答** できる限りの時間短縮に努め来庁者が気持ちよく手続きをできるように取り組む。

**問** 接客サービスの向上に窓口での挨拶はどのように指導しているのか。

**答** サービス向上に十分な研修を行っているが、ただ粛々と事務的に接したほうがいい場合もある。



民間委託の窓口業務スタート

**答** ごみステーションの活用や専用水道施設の指導を継続していきたい。

## 在宅介護について

質問

## 在宅介護の推進は

**町** 多様な支援の充実を図る

**問** 核家族の構成の中で在宅介護の推進を図れるか。

**答** 公的なサービスだけではなく、担い手による介護予防や生活支援など共助の地域社会づくりを目指し、取り組んでいきたい。

**問** 認知症の在宅介護の支援はどのように指導しているのか。

**答** 地域包括支援センターを相談窓口として、サロンでの憩いの場への参加や介護保険の提供など、その方に応じた支援を行っている。

**問** 介護する家族への支援は行っているか。

**答** 認知症総合支援事業を開始した。医療機関や介護サービス事業者などの連携で初期の支援を包括的集中的に行い、自

立生活のサポートを行う。

**問** 終末期の在宅介護の支援と事故防止策は。

**答** 家族の心身の状況や介護の負担を軽減するため訪問介護や訪問看護などの提供、傾聴ボランティアの紹介など家族に合わせた支援を行っている。



支え合う在宅介護